



病後児保育室

ひまわり

初夏の陽気に肌も汗ばむ時期となりました。

5月のひまわりでは、上気道炎や急性胃腸炎での利用が多くみられました。嘔吐が治まって食事を食べ始められると一見元気に見えますが、十分に食事量がとれていなかったり、下痢が続いていたりすることで、体力が回復しておらず、疲れやすいこともあります。病後児保育室ではお部屋でゆったり過ごしたり、食事に配慮したりすることもできます。

病後児保育室『ひまわり』での出来事

Aさん（3歳）は2カ月前に皮膚の疾患で『ひまわり』を利用しており、今月も同じ疾患での利用でした。前回は薬を飲みたがらず、部屋の中を駆け回る様子が見られました。

しかし、今回は、本人の口から「薬を飲まないで治らないんだよ。」という言葉が聞かれました。さらに、薬の時間になると自ら椅子に座り、苦い表情を見せながらもあっさりと薬を内服しました。その後は、元気におままごとやお人形で遊んでおり、一日中ご機嫌で過ごしました。

体調を崩している子どもたちも、『ひまわり』で療養しながら様々なことを感じ取り、成長しているのだと実感した出来事でした。

普段通う施設ではないことや、病気のお子さんを預けるということから、不安や心配があるかと思います。しかし、病後児保育室『ひまわり』もお子さんの成長の場の一つになると考えています。ぜひ、病気の時の手立てとして、ご利用ください。

病後児保育室を利用するには、事前の登録が必要です

町田市・川崎市・相模原市・八王子市にお住まいか、町田市の認可保育園に通うおおむね1歳～小学3年生までのお子さんが対象です。

*登録は随時受け付けています。親子でききょう保育園に来て、オリエンテーションを受けていただきます。オリエンテーションの予約は、ききょう保育園のホームページよりご確認ください。（食物アレルギーのあるお子さんはお電話でご連絡ください。）